

学籍番号

問1 急性期の看護について正しいものに○ 間違っているものに×をつけてください [2点×5]

- 1 (○) 苦痛を言葉で表現できないという特徴から病状の進行、病状の悪化に陥りやすい。正確な身体アセスメント迅速なケアが求められる
- 2 (×) 子どもの心停止は心臓疾患から続発するものが多い。その為心肺蘇生の準備や知識、技術を習得しておく必要がある
- 3 (○) 不安や恐怖の軽減、疼痛の抑制、体動の制限・最小化、安全の確保のために鎮静剤や鎮痛剤を使用することがある
- 4 (○) 治療、検査、処置に対して子どもに理解できる方法で説明を行い、子どもの納得を得ることをインフォームドコンセントという
- 5 (○) 急性期においては家族と医療関係者の信頼関係形成が重要。気持ちに寄り添い共感的に関わり少しずつコミュニケーションを積み重ねていくようにする

問2

救命処置について正しいものを○間違っているものを×で答えてください [1点×15]

- 1 (×) 乳児の胸骨圧迫の深さは胸の厚さの約1/2である
- 2 (○) 胸骨圧迫は少なくとも100回/分の速さで行う
- 3 (×) 死戦期呼吸を認めたら呼吸停止と判断する
- 4 (○) 1人の救助者で行う場合の胸骨圧迫と人工呼吸の比は30:2である
- 5 (×) 乳児の脈拍の触知は頸動脈で行う
- 6 (×) 乳児の気道内異物の除去をする場合は腹部突き上げ法を行う
- 7 (×) 学童の救命処置では、胸骨圧迫よりも気道確保が優先である
- 8 (×) 子どもにAEDを施す場合は、動かないように身体を押さえる
- 9 (×) 救命処置の手順はC⇒A⇒Bであるが新生児の場合も同じである
- 10 (○) 乳児にもAEDは使用できる
- 11 (○) 意識状態の確認は、乳児の場合、足底をたたいて確認する
- 12 (×) HR(心拍数)60回/分以下、皮膚蒼白、チアノーゼが見られたので胸骨圧迫を開始した
- 13 (○) 頸椎損傷が疑われる児に対して、気道確保は頭部後屈-顎先挙上法を行う
- 14 (×) AEDにてショック不要とアナウンスがあったので心肺蘇生の必要はないと判断した
- 15 (×) 病棟入院中の患児のバイタルサイン測定中に意識消失した。急いで応援を呼びにナースステーションに行った

問 3 下記の ( ) を口の語句から選び、記入してください [1点×15]

- 1) 小児の事故の多くは (a ) でおきており、日常生活において身近にあるものや生活環境が事故の原因になっている
- 2) 新旧の外傷、受診までに時間が経過している、親の説明があいまい等事故の状況によって (b ) の可能性も考慮する
- 3) 傷害予防の基本アプローチ (3Eアプローチ) とは製品、環境デザインの改善・(c ) ・法規制の3つである
- 4) 乳幼児の最大口径は (d ) mm であるので、これより小さい物は誤嚥による (e ) の原因になる。
- 5) 子どもの皮膚は脆弱で、熱傷を負った直後も熱が皮膚の深部へ伝達されていくため、速やかに衣服の上から患部を流水などで 30 分程度冷却する。その際、(f ) にならないに様十分注意する。入院中は、創部の (g ) が重要である。その他、栄養管理、ストレス緩和、環境の調整に努める。
- 6) 熱中症の予防は、高温の環境を避ける、服装の工夫、(h ) 摂取、体調を整える、(i ) を促すことなどが大切である。小児は成人と比べ、体重当たりの水分量が (j ) 、体温調節機能の未熟、腎の尿濃縮力が弱いなどの特徴がある
- 7) 0 歳から 1 歳は (k ) での溺水が多く、年齢が高くなるとプールや湖、海など野外が多い
- 8) 頭部外傷にて頭蓋内血腫を起こしている場合、血腫が増大して意識障害、瞳孔散大、対光反射の減弱および消失、片麻痺、腱反射の異常、異常呼吸などの (l ) が見られることがある
- 9) 意識障害やけいれんのある児や生後 6 か月以内の乳児は誤飲を起こしても、誤嚥の危険性があるため (m ) である
- 10) 不慮の事故が起きたときは、まずは (n ) が最優先である
- 11) 子どもの不慮の事故で 0 歳児の 1 位は (o ) である

虐待 b	39 d	32	低体温 f	頭蓋内圧亢進症状 l
多い	少ない j	水分 k	家庭内 m	戸外 n
感染予防 o	交通事故	高温	催吐禁止 p	頸椎損傷
暑熱順化 q	意識障害	窒息 r	救命 s	運動
気道閉塞 t	誤飲	誤嚥	教育 u	運動
溺死および溺水	家庭の浴槽 v	クッシング現象		

34 点 / 40

問1

1	0	2	X	3	0	4	<del>0</del>	5	0
---	---	---	---	---	---	---	--------------	---	---

問2

1	X
2	0
3	<del>X</del>
4	0
5	X
6	X
7	X
8	X
9	X
10	0
11	0
12	<del>X</del>
13	<del>0</del>
14	X
15	X

-6

問3

1) a 家庭内	2) b 虐待	3) c 教育
4) d 39	e 気道閉塞	
5) f 低体温	g 感染予防	
6) h 水分	i 暑熱順化	j <del>脱水</del>
7) k 家庭の浴槽	8) l 頭蓋内圧亢進症状	9) m 催吐禁止
10) n 救命	11) o 窒息	